

事業名	大項目 (事業共通)	小項目	効果の指標等	具体的な効果等	受益者	備考 (地域の状況等)
河川	費用便益分析					
	安全・安心	浸水被害の軽減 ・財産、都市機能	・費用便益比(B/C)	・3.35(年便益B=3,471.6百万円、年費用C=1,035.3百万円) (想定被害額は、治水経済調査要綱に基づき、一般資産、農産物、営業停止損失、公共土木施設等について算定)	想定氾濫 区域内 住民	
	定性的評価等					
	安全・安心	浸水被害の軽減 ・生命、財産、都市機能	・想定氾濫区域面積 ・想定氾濫区域内人口	・約 6 ha ・約 500 人	想定氾濫 区域内 住民	
			・想定氾濫区域内の重要な施設数 (交通網、ライフライン等)	・主要施設： なし ・災害弱者施設： なし ・交通網、ライフライン等： 国道170号		
		防災機能(地震・火災時等) ・緊急避難路、物資輸送路 延焼防止帯等	人家が連担する左岸側の国道が守られることから、生活道路及び、緊急時の避難路、物資輸送路が確保される。	周辺住民		
	快適性 (生活環境)	親水空間の確保 (スポーツ・レクリエーション利用)		河川改修によって、河川両岸に水に近づき散歩ができる通路が確保され、河川に対する親しみが增大することが期待できる。	周辺住民	
環境 (自然環境)	生態系への影響		全体の中の一部区間であり、前後に生態系が残っていることや、改修前と同様の構造(河床は土等)であることから、時間が経てば自然とみお筋が形成されるなど、現在の生態系への影響は小さい。	周辺住民		